

科目名	特別講座 4							年度	2026
英語科目名	Special Lecture 4							学期	後期
学科・学年	情報処理科 2年次	必/選	選	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	企業からの特別講師	教員の実務経験		有	実務経験の職種		IT関連職種		
【科目の目的】 この講義の目的は、学生が業界のプロフェッショナルから最新の技術動向を学び、知識を深めることです。IT技術が変革期にある今、求められる人材は知的好奇心を持ち、興味を持った分野を深く探究できる人です。また、多様な価値観を理解するために、異なる環境の人々と交流することも重要です。本講義では、学生の知的好奇心を刺激し、他者への理解や柔軟な発想力を養うことを目指します。									
【科目の概要】 本講義では、外部講師の講義を基に「事前調査」「聴講」「聴講結果報告」の3つのユニットで進めます。講義内容の理解を深め、有意義な学びにするため、事前調査を重視し、授業時間外での予習も推奨します。また、聴講後には必ずレポートを作成し、学んだ知識を定着させます。さらに、外部環境との関わりを通じてビジネススキルを高めるため、受講マナーの指導も行います。									
【到達目標】 本講義の目標は、学生が最新の技術動向に興味を持ち、積極的に勉強会やカンファレンスに参加する姿勢を身につけることです。また、就職活動において自身の目指す業界や理想とする人材像を明確にすることも目指します。多様な価値観を理解し、他者に対して想像力や思いやりを持って接する力を育みます。さらに、聴講レポートの作成を通じて文章作成能力と論理的思考力を養い、情報を整理して発表する力を高めます。									
【授業の注意点】 本講義では、学生の主体的な学習姿勢を重視し、事前調査の質や外部講師への積極的な質問・関わり方を評価します。聴講後のレポートには、聴講内容の要約だけでなく、自分の考えや新たに学んだことの調査結果を含めることが求められます。また、単なる出席に留まらず、社会に出る意識を持った受講マナーで授業に参加することを推奨します。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう				レベル1 要努力	
到達目標 A	最新技術動向に深く関心を持ち、主体的に勉強会に継続的に参加している			最新技術動向に関心を持ち、勉強会に参加したことがある				最新技術動向に関心を持たず、主体的に勉強会に参加したことがない	
到達目標 B	最新技術動向に深く関心を持ち、主体的にカンファレンスに継続的に参加している			最新技術動向に関心を持ち、カンファレンスに参加したことがある				最新技術動向に関心を持たず、主体的にカンファレンスに参加したことがない	
到達目標 C	就職活動をする上で自らの目指す業界、人材像を定めることができる			就職活動をする上で自らの目指す業界を定めることができる				就職活動をする上で自らの目指す業界、人材像を定めることができない	
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 毎回、講義で使用するレジュメや資料を配布します。参考書や参考資料については、各講義ごとに指示します。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験および課題を総合的に評価します。 授業内容の理解度を確認するため、提出されたレポートを評価します。 授業時間内に実施する発表の内容や方法について評価します。 授業への積極的な参加度や態度を評価します。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		特別講座 4			年度	2026
英語表記		Special Lecture 4			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	事前調査	聴講テーマにそった事前知識を調査し、情報を整理することができる	1 調査方法	必要な情報を得るための調査方法を身につける	3	
			2 事前調査	聴講テーマに沿った事前知識を習得する		
2	事前調査報告	事前調査によって整理した情報を他者と共有するために説明、発表することができる	1 発表方法	調査した情報を整理しまとめる力を身につける	3	
			2 調査報告	事前調査した情報を他者に効果的に説明、発表できる		
3	聴講	知的好奇心をもって聴講し、見識を深め、テーマについて深層まで探究することができる	1 聴講方法	聴講するときの態度について理解する	3	
			2 聴講	聴講テーマに関する知識を習得する		
4	聴講結果報告	聴講内容を振り返り、新たな知識を定着させることができる	1 報告作成方法	聴講した情報を整理しまとめる力を身につける	3	
			2 聴講報告作成	聴講テーマについて体系的に整理し知識を定着させる		
5	聴講結果報告・まとめ 結果報告	自ら調査した事柄を他者と共有するために、情報を整理して説明することができる	1 報告方法	他者との情報共有の方法を理解する	3	
			2 聴講報告	聴講した情報を他者に効果的に説明、発表できる		
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等